

庄内の農力

米どころ庄内が、
主要品種として〈つや姫〉に力を入れて、
活気づいています。

コシヒカリやササニシキの親である亀ノ尾は、
民間育種家の伝統がある
庄内地方で誕生しました。

近代は、大規模圃場による米づくりを
基幹産業として推進してきましたが、
同時に、多くの在来作物の種が
大切に守り育てられてきた地域でもあります。

農に対する、そんな幅の広さを知って、
ちよっと、ほかの地域と違うなあ、
と思うようになりました。

庄内の農が
幅の広さを保ってきた要因は、なんなのか。

種のこと、用水のこと、砂丘のこと、
江戸時代の北前船や庄内藩の藩校のことなど、
知れば知るほど、興味が深まる地域です。
この中に、日本の農を元気にする
ヒントが隠れてはいないでしょうか。

何が見えてくるのかを楽しみしながら、
伝統や文化、風土を探っていきましょう。

藩校〈致道館〉に見る庄内人気質

酒井忠久

山形に息づく在来作物の多様性

種を守る人々

江頭宏昌

つや姫誕生までの道のり

庄内の米づくり

渡辺智史

富樫達喜

鈴木紀生

つや姫誕生秘話

中場勝

佐藤豊

庄内砂丘の水とメロン栽培

菊池常俊

庄内赤川水源林保全の歴史

清和亮次

庄内の里川 赤川と赤川頭首工

前川勝朗

富士山湧水の恵み―水掛け菜

堀口校

水の文化 楽習実践取材
杉並区立并荻小学校

目指せ、善福寺川再生！

編集部

文化をつくる 庄内の農力

編集部

赤川の流れを追う

古賀邦雄

水の水文化書誌

里川文化塾報告／予告

お知らせ

酒田市内を流れる新井田川の中州（山居島）に、1893年（明治26）から4年間かけて計14棟建てられた山居倉庫。旧藩主 酒井家が、明治維新後に失墜した庄内米への評価を取り戻すために、米商会所（米穀取引所）と倉庫事業を牽引した。倉庫としての優れた機能だけでなく、入庫米を厳正に審査することで評価回復を成し遂げたという。